

北海道大学から感謝状が贈呈されました

北海道大学北方生物圏フィールド科学センター 苫小牧研究林に設置された電波望遠鏡の観測開始に際し、通信総合研究所が行った技術協力に対して、平成14年3月14日に開催された電波望遠鏡設置記念式典の中で北海道大学から通信総合研究所に感謝状が贈呈されました。▼この電波望遠鏡は、通信総合研究所の首都圏広域地殻変動観測計画(Key Stone Project)におけるVLBI観測局として1996年に神奈川県三浦市に設置された11mアンテナを、同計画の終了に伴って北海道大学に移管したものです。その後、北海道大学と国立天文台との協力により苫小牧研究林の中に移設され、このほど電波望遠鏡としてのデビューを果たしました。▼通信総合研究所は、電波望遠鏡の組み立てが行われた後のポインティング調整作業や試験観測の実施など、電波望遠鏡として本格的な観測に使用するために必要な技術的協力を行い、平成13年11月21日には鹿島宇宙通信研究センターの34mアンテナおよび11mアンテナとの間で24時間の測地VLBI実験を実施しました。その

結果、電波望遠鏡の基準点位置の高精度決定に成功し、電波望遠鏡が所期の計画通りの機能を発揮していることが確認されました。▼このような大型の電波望遠鏡を新規に建設する場合、長期間にわたる調整作業や試験観測が必要ですが、首都圏広域地殻変動観測計画で長期にわたって自動観測を実施してきたシステムを活用し、極めて短期間で電波望遠鏡の本格的な観測開始を実現することができました。▼北海道大学では、今後、国立天文台および通信総合研究所などと協力しながら、測地VLBI観測や新しく搭載する22GHz受信機によるアンモニア分子の広域サーベイ観測に取り組むことなどが計画されています。(Y. K. 記)



北海道大学中村総長(左)より感謝状の贈呈を受ける通信総合研究所飯田理事長(右)



北海道大学より贈呈された感謝状



電波望遠鏡設置記念式典でのテープカット